

～ 高島第一中学校の環境に関する取組 ～

環境教育・持続可能な開発目標 SDGs 教育の推進

板橋区立高島第一中学校



～ はじめに ～

本校は、2022 年 11 月にユネスコスクールに認定されました。持続可能な開発目標 SDGs の実現に向けて、環境や防災について外部機関との連携を図りながら、SDGs を理解し、環境に良い取組を実践する SDGs 教育を行っています。今年度、本校が実践してきた活動をまとめましたので、ご紹介します。

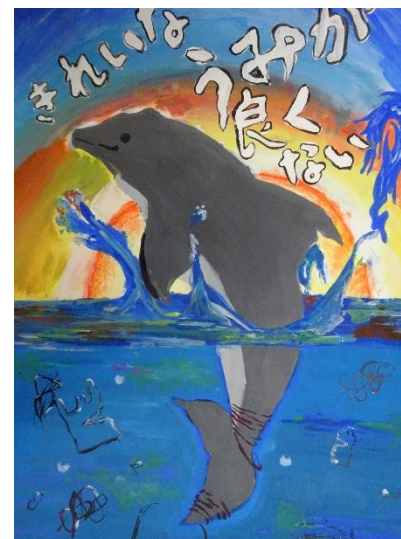


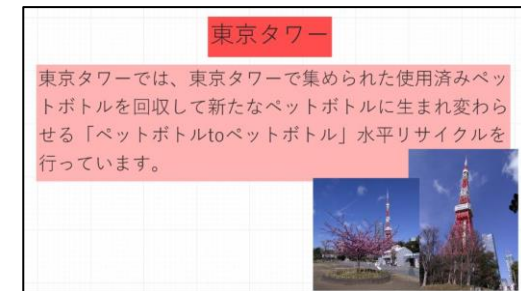
● 教材開発・授業研究 ●



1. 美術の授業でのポスター作り

美術の授業では環境に関することをテーマにして、身近な問題について想像を膨らませ、一人ひとりの考えをポスターにして表現する活動をおこないました。





3. 多くの教科で連携した環境教育・持続可能な開発目標 SDGs 教育

1 は美術、2 は理科や総合的な学習の時間で行った内容を紹介しましたが、これ以外でも多くの教科で環境問題や持続可能な開発目標 SDGs について取り上げ、環境について考える授業をおこなっています。

4. 環境美化委員会の取組

環境美化委員会は、学校生活が各教室の掃除道具の準備や点検を行い、日頃から掃除をして清潔な学校となるように、活動を行っています。燃えるゴミを減らせば、物が燃えるときに発生する二酸化炭素の排出量を減らすことができ、地球温暖化防止対策につながる、リサイクルをすれば、ゴミも物を作るときの材料も減らすことができる、など様々な行動が環境の良い取組につながります。日頃から環境に良い行動を行おうと全生徒に伝えるため、環境美化委員会では年に2回環境に良い行動を呼びかけるポスターをつくり、掲示をしています。



5. リサイクルをテーマにした劇の発表(演劇部)

どんなものでも買い取るリサイクルショップをテーマにした劇をおこない、人によって物の価値が決まる、物の大切さを考える劇を練習し、校内発表をおこないました。コメディ要素を交え、楽しみながら物の大切さを多くの生徒に伝えることができました。



● 植物の育成 ●

特別支援学級や園芸部が中心となって、ひまわりなどの花やピーマン、ナス、トマト、キュウリ、大豆、綿、バナナなど多くの植物を育てました。ゴーヤのグリーンカーテンを育て、校舎内の室温を下げる取組を実行することができました。この植物の育成の部分ではNPO 法人センス・オブ・アースの専門家を招いて、大豆の育て方を学び、大豆を育てました。これらの活動を通して、草花のきれいさや植物を育てる喜びを学び、食べ物のありがたさを知ることができました。



キュウリ



ナス



サツマイモ



バナナ



ゴーヤ



収穫した
ナスとピーマン

～ コンポストの活用 ～

2年前から右図のようなコンポストをつくって活用し、ゴミの削減を行っています。収穫した後の植物や校内で出る落ち葉と腐葉土を容器に入れて、水で湿らせます。そして、ときどき、中身を混ぜます。そうすることで、土の中にいる微生物が少しずつ植物を分解し、堆肥となります。このコンポストでつくられた堆肥は春に畑の土と混ぜ、栄養たっぷりの土となり、来年度の植物を育てるために使われています。



● リサイクル活動 ●

12 つくる責任
つかう責任

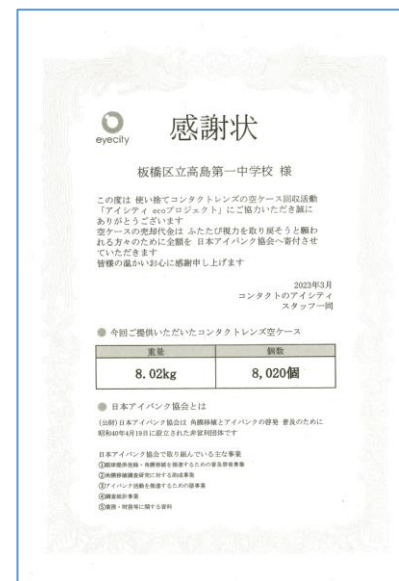


1. コンタクトレンズの空き容器を回収する取組

「かきくけコンタくんの集めようプロジェクト」

保健室の前の廊下に回収箱を用意して、使い捨てコンタクトレンズの空き容器を回収しています。回収したものは、日本アイバンク協会で行っている「アイシティ eco プロジェクト」へ送っています。空ケースをゴミとして燃やさないこと、そして、プラスチックをリサイクルすることで、環境保全につながっています。

今年度分はまだ集めている最中ですが、昨年度は重量 8.2 k g、8,020 個の空き容器が集まり、右図の感謝状をいただきました。

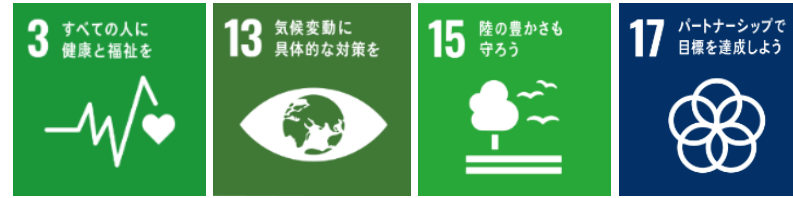


2. 給食で出る牛乳パックのリサイクル

給食で牛乳を飲むと出る牛乳パックを回収し、水で洗い、リサイクルをしています。



● 連携・交流プログラム ●



1. 板橋熱帯環境植物館との連携

板橋熱帯環境植物館は、マレーシアの熱帯環境を海岸付近から高山地帯までを垂直的に再現しています。同館は、マレーシアのパナン植物園と友好連携関係にあり、同園からの支援を展示に生かしています。本校では、毎年 8 年生が板橋熱帯環境植物館の見学をし、熱帯地方の環境を知り、環境問題について考える取組をおこなっています。



2. 近隣の小学校と連携した地域清掃

自分たちの住む街のようすを観察し、落ちているゴミを拾う取組・地域清掃を 7 年生で行います。今年は近隣の小学校(高島第一小学校と新河岸小学校)の児童とともに、協力し合ってゴミを拾い、街をキレイにする取組を行います。

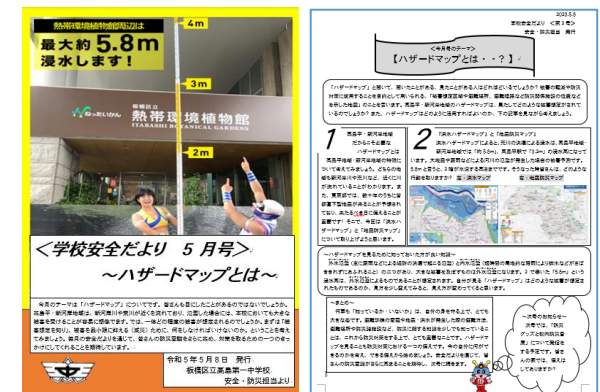
3. 板橋特別支援学校との連携

日頃の成果を展示する学習展示発表会的时候には、板橋特別支援学校の生徒が作った作品を展示し、板橋特別支援学校の活動を知る機会をつくっています。

● 防災の取組 ●



安全だよりの発行と月に 1 回の防災訓練を行っています。高島第一中学校は、火事や地震を想定した避難訓練の他に、近くの新河岸川が氾濫し、洪水が起こることを想定した垂直避難(4 階への避難)や突然起こる避難訓練(シェイクアウト訓練)などを行っています。



● 食 育 ●



1. 食材の良さを知る取組

食材の生産地や生産者、給食がつくられるようすを紹介することで、生徒に食材への理解と関心をもたせ、食べ物を大切に、生産者への感謝の気持ちをもつとともに食生活の改善や健康増進を図る取組を日々、行っています。

【概要】

- ・「とれたて村」，「板橋ふれあい農園会」給食(月に 1 回実施)
とれたて村（板橋区と交流のある市町村が集まったアンテナショップや大山商店街および上板橋商店街）や板橋ふれあい農園会（区内農家）から新鮮な食材を購入し、「とれたて村」，「板橋ふれあい農園会」給食がつくられています。
- ・給食だよりで毎月の給食や季節ごとの食に関する知識、「とれたて村給食」、「板橋ふれあい農園会給食」のことを紹介することで食材のつくられ方やおいしさの秘訣を生徒に伝えています。(月に 1 回実施)
- ・昼の放送で食材の紹介やおいしさについてアナウンスをしています。(毎日実施)
- ・給食がつくられるようすを写真に撮り、職員室前に掲示することで、生徒に食材への理解と関心をもたせる取組を行っています。(毎日実施)



2. 食品ロスを減らす SDG s 給食

食品ロスを減らす SDG s 給食の実施をしました。SDG s 給食とは、本来であれば、捨ててしまう食材を取り入れてつくる給食のことです。本校では出汁を取り終わった出汁がらを捨てずに、ふりかけにして、食べました。食品の廃棄を減らし、捨てるはずだったものを美味しく食べることができました。また、前日に残ってしまった残菜の量を「〇人分の給食が残りまし」と給食中の放送で報告をし、クラスでも残菜を減らすように声かけを行っています。そのおかげで生徒たちも残菜をなくそうと、たくさんの給食を食べるように心がけている生徒が多いです。

出汁をとった昆布と鰹節をつかったエコふりかけの給食



■ 成果と課題 ■

●成果	●これからの課題
・春から夏にかけて、多くの植物を育て、植物を育てる喜びや食べ物のありがたさを学ぶことができた。さらに、グリーンカーテンを育て、校舎内の室温を下げる取組を実行することができた。 ・コンタクトレンズ空き容器回収の取組等、例年同様にできる取組は継続して行い、環境に良い取組を続けることができた。 ・本校の活動が評価され、2022年11月からユネスコスクールに認定されている。	・総合的な学習の時間を中心として教科横断的に環境教育を行い、今、自分にできることを考え、環境に良い行動ができる生徒を育てる。 ・ユネスコスクールとして、今まで以上に環境について考え、本校の学校行事の在り方や生徒の学校生活の過ごし方、日々の授業などの場面でSDGsの実現につながる活動を増やしていく。



板橋区立高島第一中学校

〒175-0082 東京都板橋区高島平 8-26-1

電話 03-3936-1171 , FAX 03-3935-1558